

研修報告書

令和5年11月25日

下呂市議会中島達也

研修名 : 市町村議会議員研修 「防災と議員の役割」

期 間 : 令和5年11月20日(月) ～ 11月21日(火)

研修先 : 全国市町村国際文化研修所

研修目的	下呂市は平成30年から令和2年にかけて未曾有の豪雨災害が発生し大きな被害を被りました。家屋への多量の土砂流入、河川護岸の崩落で解体を余儀なくされた家屋も発生しました。又幹線道路やJR高山線も寸断し子供たちの通学や観光客にも大きな影響がありました。幸い市民に重大な人的被害はなかったことは、日頃から防災訓練、防災講演会等に積極的に参加され自助、共助等の危機意識の高さがあったからと推察致します。 自身も防災士として地域防災に係ることや議会人としてどのような行動、提言ができるかを研修を通じ自己研鑽する。 又下呂市地域防災計画の策定、修正にあたり豪雨災害、ハザードマップの検証を踏まえ計画の見直し、又南海トラフ地震、阿寺断層地震などが危惧される中議員として何が提言できるか確認する。
研修内容	1・平時の防災 ○住宅の耐震化 ○要配慮者支援 ○防災教育 2・地方議会の役割 ○平時の監視機能 ○平時の対策立案機能 ○防災特別委員会 ○災害時の議会・議員活動方針の策定 ○情報の一元化 ※平常時の議会開会中の質疑を通じて行う 3・災害時議会がしてはならないこと ●行政に負担をかける議会運営 ・長時間 ・出席者多数 ・多くの資料請求 ●応急対策への批判的な質疑 ●災害直後の議会開催 ※オンライン議会 4・レジリエンスの3要素 ○危機を予測する力 ○危機を予防する力 ○危機に対応する力 5・高齢社会の災害 ○災害関連死を防ぐ ○在宅の被災者支援 ○自治会等の見守り支援 まとめ 上記の課題についてワークショップ、ワールド・カフェ等で問題点を抽出